

□■養成所ニュースプラス第 30 号 2023□■

今週はふたご座流星群を観察することができました。冬の夜空には多くの明るい星を見ることができます。気分転換に眺めてみませんか。

皆さんのお手元には受験票が届いたことと思います。受験会場を確認できましたか。あと1か月半、1日1日を積み上げていきましょう。

今回は、「相談援助の基盤と専門職」（現、ソーシャルワークの基盤と専門職）からソーシャルワークの形成過程の問題、「相談援助の理論と方法」（現、ソーシャルワークの理論と方法）から課題中心アプローチの問題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみましょう。

※前号「正答と解説」の【第 31 回問題 81】の解説に一部誤字がありましたので、訂正します。

【正】 5. ×契約締結にあたり本人の判断能力に疑義がある場合には、

【誤】 5. ×契約締結にあたり本人の本弾能力に疑義がある場合には、

■Plus Quiz

【第 31 回問題 93】ポストモダンの影響を受けたソーシャルワークに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. クライエントの主体性や語りを重視する。
2. クライエントの欠点を直す援助を指向する。
3. 社会構成主義への批判から発展している。
4. 客観主義、実証主義を追求する。
5. サービス提供の効率性を求める。

【第 30 回問題 102】リード（Reid, W.）とエプスタイン（Epstein, L.）が提唱した課題中心アプローチに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ストレングスモデルの影響を受けている。
2. 過去に起きた出来事について探索し、問題の原因を究明する。
3. 支援期間を短期に設定し、処遇目標や面接の回数などを明確化する。
4. クライエント自らが解決困難と考える問題を、支援対象とする。
5. 精神分析的な方法を用いて、クライエントのアセスメントをする。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

- ・(34 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(35 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

- ・(35 期生) 3 学期レポート課題の<テキスト・参考文献>表記に誤りがありましたので、ホームページに訂正を掲載しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183485&c=3246&d=99c7>

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 36 回国家試験は、令和 6 年 2 月 4 日（日）です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183486&c=3246&d=99c7>

- ・令和 5 年 12 月 8 日に、第 36 回社会福祉士国家試験の受験票が東京都内の郵便局から投函（郵送）されました。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183487&c=3246&d=99c7>

- ・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。

第 34・35 期生の皆様にご案内を郵送しておりますので、内容をご確認の上、ぜひ受講してください。現在は、「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」の一部と「国家試験集中講座（共通科目／社会専門）」のオンデマンド動画が視聴可能です。

また、12 月 7 日（木）に国家試験直前対策講座（有料）のご案内を発送しました。是非ご活用ください。

受験対策講座ページへのアクセスはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183488&c=3246&d=99c7>

※「国家試験集中講座（共通科目／社会専門）」については、申し込みが完了し受講確定通知を受けた方に限り視聴が可能です。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183489&c=3246&d=99c7>

- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 36 期生の出願を受け付けております。

現在、2 期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介しますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183490&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183491&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1183492&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

養成所ニュースプラス第 24 号でお伝えいたしましたとおり、年内はお休みします。

【Plus Quiz 正答と解説】

「相談援助の基盤と専門職」は、中項目の「社会福祉士及び介護福祉士法」と「ソーシャルワークに係る各種の定義」が頻出です。確実に回答できるように準備を進めましょう。

加えて「ソーシャルワークの形成過程」もこの 5 年間で毎年出題されています。「現代社会と福祉」「地域福祉の理論と方法」「相談援助の理論と方法」と重なる部分もあるので、他の科目と合わせて確実におさえましょう。

ポストモダンとは、論理性、実証性、合理性を重視する近代主義（モダニズム）への批判から生まれた思想的潮流で、建築分野から始まり様々な分野に波及しました。

【第 31 回問題 93】

1. ○ソーシャルワークはポストモダンの影響を受けて、クライアントの主体性や語りを重視するようになりました。エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチが代表的であると言われます。
2. ×ポストモダンの影響を受けたソーシャルワークでは、欠点を直す援助ではなく、ストレングス視点での援助を指向

します。

3. ×ポストモダンの影響を受けたソーシャルワークは、社会構成主義に基づくアプローチから発展しています。
4. ×ポストモダンの影響を受けたソーシャルワークでは、客観主義や実証主義を追求していません。合理主義的傾向等の近代主義の考え方を批判し、脱近代を目指す思想的潮流と言えます。
5. ×ポストモダンは、近代主義による画一的なシステムを批判する思想であるので、ポストモダンの影響を受けたソーシャルワークは、サービスの提供の効率性などの合理性や機能性の偏重には批判的でした。

「相談援助の理論と方法」は支援現場や実習を経験している皆さんにとって得点源になる科目です。出題数が7問の科目が多い中、例年21問が出題され出題範囲も広がっています。大項目の「人と環境の相互作用」「集団を活用した相談援助」「スーパービジョン」「記録」「相談援助の実際」は、この5年間毎年出題されています。また、「相談援助の過程」では、受理面接（インテーク）に加えてそれ以外の相談援助過程が取り上げられ複数出題されることが多くあります。

今回取り上げた大項目の「様々な実践モデルとアプローチ」からも毎年複数出題されており、エンパワメントアプローチとナラティブアプローチとともに、課題中心アプローチは頻出です。ソーシャルワークの発展過程のどこで出てきたものか、その特徴のキーワードとともに整理しておきましょう。

この科目は基本的な理解が求められる問題がほとんどですので、得点の上乗せがねええます。取りこぼさないように準備を進めていきましょう。

【第30回問題102】

1. ×1970年代初めに提唱された課題中心アプローチは、心理社会的アプローチの「タイポロジー研究」、問題解決アプローチの「MCOモデル」や「問題を小さく切り分けるという特徴」、行動変容アプローチの「『今・ここで』に焦点をあてること」等の影響を受けているといわれています。ストレングスモデルは、ポストモダンの流れの中で1980年代後半に登場しています。
2. ×課題中心アプローチは、クライアントが抱える「今・ここで」を重視し、問題解決に向けての出発点と捉えます。必要でなければ、過去に戻り原因を探ることはしません。
3. ○課題中心アプローチは短期の計画的援助として体系化され、短期処遇の明確化が特徴です。そのために「時間的な制限」と「焦点とする問題」について合意を得て進めていくことになります。
4. ×課題中心アプローチでは、クライアントが望み、自らの努力で解決できる可能性がある具体的な生活諸課題が支援対象となります。クライアントとソーシャルワーカーが協働で選びます。
5. ×課題中心アプローチは、精神分析的な方法で問題の原因を探るものとはいえ、「今・ここで」の問題を取り上げ緩和していくことに焦点化されます。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus